仙北市ふるさと景観賞

1月29日、市役所田沢湖庁舎で平成21年度の「仙北市ふるさと景観賞」の表彰式が行われました。

この「仙北市ふるさと景観賞」は、愛着と親しみと誇りの持てる美しい市を創出するために、良好な景観を形成している建築物や優れた景観づくりに貢献している個人・団体等を表彰するものです。

この度は、建築物1件、景観形成活動2件の計3件の応募があり、仙北市歴史的景観審議会による審査の結果、建築物は「渡辺家住宅」、景観形成活動は「田沢地区の花壇造成・美化活動」が選ばれ、渡辺家所有者の渡辺豊国氏、設計者の渡辺菊眞氏、施工者の㈱小松建設と田沢寿会が表彰されました。

「渡辺家住宅（角館町横町）」
前面道路の拡幅工事に伴い解体される状況となっていた建物を敷地後方に曳家することにより、貴重な町家を保存したことが高く評価されました。渡辺家住宅の隣には、平成18年度に景観賞を受賞した「五井酒造店」があり、昔ながらの町屋が連続し良好な景観が形成されています。

「田沢地区の花壇造成・美化活動」
地域の老人クラブが「自分たちで出来ることで他の方々の心の癒しになれば」と思ったのがきっかけで始めた活動で、自分たちの住む地域の美しい景観の創造、維持、向上に寄与する熱心な活動が認められました。

文化財を火災から守る

昭和24年1月26日、聖徳太子が建立した『法隆寺 金堂』から出火し、世界的な『壁画』が消失しました。このような貴重な財産を、火災、震災、その他の災害から守るため、毎年1月26日を『文化財防火デー』に定め、この日を中心に全国各地で文化財防火運動が実施されています。

市ではこれに伴い、角館伝統的建造物群保存地区で消防署員や角館北部地域自主防災会による文化財防災施設の点検や除雪が行われました。

国指定重要文化財の草彅家住宅（田沢湖生保内）では、消防署員や地域消防団員、市関係者などが参加し、バケツリレーや水消火器を使用した消火訓練のほか、小型動力ポンプ付積載車による放水訓練を実施。また、県指定有形文化財の大国主神社(西木町西明寺)では、訓練前に消防署員から消火栓の操作方法などが参加者に説明され、訓練開始のサイレンを合図に地域消防団員と地域住民がともに放水訓練を行うなど、本番さながらの防火訓練が実施されました。

第15回おやま囃子芸能発表会

2月11日、角館交流センターを会場に、角館のお祭り保存会の主催で、おやま囃子芸能発表会が開催されました。今回は14団体（約400人）と、特別出演の冨岡沙樹さんの参加で、会場には800人を超えるお客様にも来場いただき、大盛況でした。

この行事は、国指定無形民俗文化財「角館祭りのやま行事」の重要な構成要素である「おやま囃子」を、日ごろ練習している若者たちに、その成果を発表する場を設け一堂に披露することにより、レベルアップを図り、伝統の継承活動に寄与するものです。